

美濃中学校だより

夢・志・挑戦

令和6年4月23日発行

未来を生き抜く生徒を育てる学校としての新たなスタート

美濃中学校 校長 武井由典

技術の進歩や価値観の変化が今まで以上に大きくなる中、今の中学生が社会で活躍する10年後20年後は、想像を絶する変化した社会になっていることでしょう。このように激変する社会を生き抜くための素地を身につけられるようにすることが、学校の大切な役割だと考えています。

そこで、昨年、保護者の皆様に回答していただいた学校評価の結果と、今後の社会を生き抜く生徒のことを鑑み、学校の教育目標を「夢 志 挑戦」としました。

4月8日、120名の新入生を迎え、全校生徒360名で令和6年度美濃中学校がスタートしました。新たな教育目標実現のために、本年度は、以下のことを重点にして取り組んでいきます。

<生徒会>

生徒会規約に則って、生徒が自治活動をする組織
あらかじめ決まっている委員会や行事を運営する活動から
生徒自身が自分たちのためになる活動を創造し運営する活動へ
(従来の体育大会や合唱交流会から
生徒自身が楽しむ会として新たな行事を作り上げる。)

<総合的な学習の時間>

個々の夢の実現に向けて、没頭したい事に取り組める時間
様々な取り組みをしている仲間と活動し、夢を見つける時間
学級や学年の垣根を無くし、同じ夢を持つ者が集まって取り組む時間
可能な限りその道の専門家から学べる時間
社会課題を取り上げ学習する時間から、
個々の夢の実現に必要なアントレプレナーシップを身に付ける時間へ

<授業>

各教科の魅力にワクワクして取り組める授業
得意な教科も苦手な教科も、自力で何とかする力を身に付けられる授業

<学級での日常生活>

応援し合う雰囲気の中で
個々が目標をもって取り組み高め合う学級
一人一人の意見が大切にされる学級
そろって取り組んで集団で達成感を味わう学級から
個々が成長を実感して生活する学級へ
団結を目指す学級から
相互理解でより良い人間関係を築く学級へ



自分の「こと」を大切に、
他の人の「こと」も
同じように大切にする人

【学校の対応について、ご理解をお願いしたいこと】

①子どもの笑顔を守るために

子どもを巡るさまざまな事件の報道が後を絶ちません。多くの子どもが虐待死をしています。死に至らないとしても、虐待やネグレクトは子どもの心に深い傷を残し、大人になってもその傷に苦しみます。

児童虐待防止法、児童福祉法により、子どもの虐待やネグレクトの疑いをもった時は、教育委員会、福祉事務所、児童相談所に伝えることが、国民の義務とされています。子どもたちが安心して安全な環境で生活できるようにすることが大人の義務であると考えます。そのため、虐待やネグレクトの疑いをもった時は、上記関係機関に伝えていきます。ご理解をお願いします。

虐待やネグレクトが起こるようなことは子どもも親も学校も悲しい思いをします。子どもとのかかわり方など何か困ったこと、教えてほしいことなどありましたら、何でも学校にお話しにお出てください。

②学校内の安全・安心を守るために

学校は、注意忠告をすることができますが、それ以上のことは限られています。学校ができる対応の範疇を超えた行為により学校内の安全が守られないと判断した場合、警察や子ども相談センター等の関係専門機関へ学校の判断で連絡することがありますことをご理解願います。

③学校としての業務範囲について

学校は生徒同士のトラブル解消に向けて、当事者生徒の保護者との懇談等を行うことについては学校の役割として重要であると考えていますが、保護者同士のことについて学校に仲介や調整を依頼されたとしても対応させていただくことは難しいことをご理解願います。(保護者同士で連絡が取りあえるようにするための調整はさせていただきます。)

また、本校職員の勤務時間は8時10分から16時35分となっています。緊急対応以外は、生徒への指導や懇談会などは勤務時間内での対応を基本としたいと考えております。

教職員の働き方が社会的な問題として話題になっていますが、本校でも教職員の働き方改革に取り組んでおりますので、ご理解ご協力をお願いします。

生徒の姿から

部活動紹介

4月18日(木)

1年生及び、2・3年生の新人部員や転部を考えている生徒に対して、部活動紹介が行われました。部活動ごとに紹介の仕方を工夫し、部活動の魅力を存分に発表しました。1年生の生徒は、「どの部活動も、2・3年生の先輩方が楽しく活動されている姿を見ることができました。最初は不安だったけど、部活動が楽しみになりました。」と感想を話し、入部を前向きに考えていました

今年度部活動は、美濃市中学生地域クラブへの移行が進められていますが、中体連の大会が終わるまでは、平日の部活動は行います。仲間との関わりを大切にしながら、目標に向かって努力し続けてほしいと思います。

企画・運営を行ってくれたボランティアの皆さん、ありがとうございました。

